

# ほほえみとともに

## ■ 楽曲データ

歌詞：大谷範子 作詞

楽曲：竹田えり 作曲（大森俊之 編曲）

発表：仏教婦人会総連盟 1997年

初演：—

初出：『佛教音楽』第37号 仏教音楽研究所 1998年

管理番号：M1773

## ■ 創作の経緯

第11回世界仏教婦人会大会（1998年4月開催）のイメージソングとして制作。

## ■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：『佛教讃歌』第13版 浄土真宗本願寺派本願寺出版社 2004年（1973年初版）

比較資料：—

校訂の詳細：特記事項なし

## ■ 解説

### ◆ 詞について

作詞は、仏教婦人会総連盟総裁である大谷範子裏方〔当時〕です。曲の冒頭と終りに、英語・ポルトガル語・日本語で、「ほほえみとともに」とあり、世界仏教婦人会大会にふさわしいグローバル（地球規模）な呼びかけになっています。

サビの歌詞は、1・2番共通で、国や民族、言語、文化は違っても、すべてのいのちをつつみ、育んでくださる阿弥陀さまのはたらきのなかに生きる喜びが伝わってきます。

### ◆ 作曲者について

作曲の竹田えりさん（1958～）は、宗門関係の京都女子高等学校の出身です。少年連盟の要請により制作された《明日に向かって》や、花まつりの歌《春あなたに》の作詞も担当しました。

### ◆ 歌い方について

- ①微笑みを忘れず、つどい語らう喜びを胸にいだいて歌いましょう。
- ②英語・ポルトガル語の部分は、原語に近い発音ができるように練習しましょう。
- ③20・21小節目、「ともに」の「に」で長く伸ばすところは、喉がかたく締まってしまわないように注意しましょう。また、ピッチ（音高）も下がらないように気を付けて。
- ④26・27小節目、「レ」→「ソ」→「ド」の音を正しく取りましょう。
- ⑤28小節目は、低い「ラ」から高い「ラ」への、1オクターブの跳躍に注意しましょう。また、この部分は、2番でリズムが変わります。「あたたかな」の「か」のタイミングが遅れないように。
- ⑥42・43小節目の長い音は、喉を楽にし、クレッシェンド（次第に強く）するようにつもりで歌いましょう。
- ⑦43小節目4拍目からのフレーズは、リズムや歌詞のつけかたに注意しましょう。
- ⑨59小節目は、「シb」や「ラb」のピッチを正確に。
- ⑩コーダ（72小節～）は、喜びにあふれた、豊かな響きを保って歌います。音を切るまで、音量が小さくならないように。

◆楽譜・音源

二部合唱版が、『讃歌集 二部合唱』第3巻に掲載されています。音源は、CD『ほほえみとともに』をご参照ください。

解説執筆：大分哲照（御堂演奏会指揮者 福岡教区西嘉穂組明圓寺住職）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 76（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第203号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.